

令和3年4月

**新型コロナウイルス感染症対策としての
音楽科の活動内容制限に関する対応や扱いにつきまして（小学校）**

教育出版株式会社 音楽編集部

新型コロナウイルス感染症対策として、自治体や学校のご判断により、音楽の授業が行われる際に、以下の内容を避ける旨の指針が示され、そって指導計画を作成する場合があります。

- ★歌唱や合唱、発声を伴う音楽づくりの活動
- ★鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの吹奏楽器の演奏活動

そのため、弊社発行の小学校音楽科教科書「小学音楽 音楽のおくりもの」をご使用いただいている学校におかれましては、音楽の授業時数など各学校の実態に合わせて、平時の年間指導計画例以外の対応も含め、ご検討くださいますようお願いいたします。

また、どのような対応が考えられるかを、4月から7月までの題材・教材を用いて簡単に例示しますのでご活用ください(次ページからの別表)。

<ご指導の際の留意点>

- 弊社の小学校の教科書では、題材やコーナーごとに教材や活動を設定しておりますので、上記の活動以外の学習活動も組み込まれており、題材等の目標にそって扱うことで、年間指導計画を大きく変更することなく対応が可能です。
- 随時教材や毎時教材は、時期の調整や、吹奏楽器の授業以外での扱いが考えられます。
- 可能な範囲でのマスクの着用や、声の大きさ、児童同士の間隔への配慮、打楽器のばちや鍵盤楽器の鍵盤など、共有する用具の衛生管理等に十分にご留意ください。
- 体を動かす活動にあたっては、着席して上半身だけで表現することが考えられます。児童同士の間隔に配慮した位置で着席することや、活動の際大きく息が上がらないようなご配慮をお願いいたします。

令和3年度小学校で扱う題材・コーナーにおける
「歌唱教材，鍵盤ハーモニカやリコーダーを扱う教材」に関する対応例（4月～7月）

※グレーの阿米部分は，マスク着用の上ハミングしたり，後の時期に扱ったりする。

学年	題材(コーナー)	教材名	対応例
1年	(導入)	p.2 どんうたがあるかな	着席して表現 CD の音源を聴きながら，ハミングしたり，合わせて上半身で身振りをしたりする。
		p.4◎ゴーアンドストップ はくにあわせて	着席して鑑賞 CD の音源を聴きながら，合わせて上半身を動かす活動や，教師の打つ拍に合わせて表現する活動を行う。
		p.6 かもつれっしゃ	着席して表現 CD の音源を聴きながら，拍に合わせて一人ずつ動く。 また，後の時期に常時活動として扱う。
		p.8◎サンダーバードほか	着席して鑑賞 CD の音源を聴きながら，拍に合わせて上半身を動かす活動を行う。
		p.10 ひらいた ひらいた (共)	着席して表現 CD の音源を聴き，ハミングしながら，一人ずつ手で花の形や動きを表現する。 共通教材なので，後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
		p.12◎わらべうた うたでおはなし	鑑賞 CD の音源を聴き，先生の動きを見ながらエア手合わせなど身振りをして遊ぶ。 声の大きさや児童との間隔に配慮して行う。
		p.14 かたつむり (共)	着席して表現 CD の音源を聴きながら，ハミングしたり，曲に合わせて身振りで表現する。 共通教材なので，後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
	リズムとなかよし	p.16 ぶんぶんぶん	表現 CD の音源を聴きながらハミングし，拍に合わせてリズム打ちしたり先生とエア手合わせをしたりする。
		p.18 しろくまの ジェンカ ◎ジェンカ	着席して表現 CD や鑑賞 CD の音源を聴きながら，拍に合わせてリズム打ちを繰り返す。

		p.20 たんとうんで リズムをつくろう	そのまま扱うことが可能。 児童同士の間隔に留意して行う。
		p.22 わくわくキ ッチン	表現 CD の音源を聴きながら、ハミングし たり、言葉に合わせてリズム打ちしたりす る。 速度を変化させた音源でも同様に行う。
	(音のスケッチ)	p.24 ことばのリズ ムであそぼう	小さい声で言葉を確認し、リズム打ちした りリズムをつくったりする。 楽器を用いる際は衛生管理に留意する。
	(にっぽんのうた みんなの うた)	p.26 うみ (共)	表現 CD の音源を聴きながら、ハミングし たり、旋律のリズムを手で打ったり、3 拍 子に合わせて体をゆらしたりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して 扱ってもよい。
2 年	(随時教材)	p.2 朝のリズム	ハミングで扱うほか、後の時期に愛唱歌と して扱うことも考えられる。
	(スキルアップ)	p.4 手びょうしり レーであそぼう	そのまま扱うことが可能。児童と児童の間 隔に留意する。
	強さやはやさを感じ て	p.6 「天国と地ご く」から ほか	着席して鑑賞 CD の音源を聴きながら、曲 に合わせて上半身を動かす活動を行う。 気付きはワークシートを用いるほか、気付 きの交流は声の大きさや、児童同士の間隔 に留意して行う。
		p.8 小さなはた け	着席して鑑賞 CD の音源を聴きながら、ハ ミングしたり、体の動きで表現したりする。
		p.10 山びごっこ	旋律のリズムを手で打ち、リズムの山びこ ごっこをする。強弱の変化をつけたリズム 打ちでまねし合う。 歌唱教材としては、後の時期に愛唱歌とし たり、題材に適宜挿入したりしてもよい。

		p.12 かくれんぼ (共) よびかけっこであ そぼう	表現 CD の音源を聴きながらハミングしたり、旋律のリズムを手で打ったりする。交互唱の部分は分担して打つ。共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。声の大きさや児童同士の間隔に配慮して行う。
	リズムやドレミとな かよし	p.14 こいぬのビ ンゴ ◎どうぶつの歌	表現 CD の音源を聴きながら、ハミングしたり、旋律のリズムを手で打ったりする。鑑賞 CD の音源を聴きながら、リズムを打ったり体を動かしたりする。
		p.15 どうぶつラッ プで遊ぼう	後の時期に授業の導入での扱いも含め適宜挿入して扱う。
		p.16 ぴよんぴよこ ロックンロール	表現 CD の音源を聴きながら、ハミングしたり、鳴き声のリズムを手で打ったりして、音符とリズムの関係を確認する。
		p.18 ことばのリズ ムであそぼう	言葉を小さな声で、または心の中で唱えながらリズムを打つ。拍にのってリズムを聴き合いながら活動する。
		P20 楽きでドレミ となかよくなろう	鍵盤ハーモニカは、後の時期に毎時扱いも含め適宜挿入して扱う。
		P22 かえるのがっ しょう	表現 CD を聴きながら、小さな声で、または心の中でドレミで歌い、音高に合わせて手を動かす。 鍵盤ハーモニカは、後の時期に毎時扱いも含め適宜挿入して扱う。夏季休暇中の家庭学習としても考えられる。
		(音のスケッチ)	p.24 音のかさなり やリズムをえら んで合わせよう
3 年	(随時教材)	p.2 小さな世界	ハミングで扱うほか、後の時期に愛唱歌として扱うことも考えられる。
	(スキルアップ)	p.4 アラムサムサ ム	輪唱教材は、ハミングで扱うほか、後の時期に毎時の導入教材等として扱う。
		p.5 リズムなかま で楽しもう！	着席してリズム打ちをしたりリズムを重ねたりする。

	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.6 春の小川(共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながらハミングしたり、楽譜の音符を指でなぞったりする。 共通教材なので、後の題材または年度末に適宜挿入して扱ってもよい。
	楽ふとドレミ	p.8 キラキラおひさま 楽ふのお話	一つ一つの音をドレミで確認する。 表現 CD の範奏音源を、心の中でドレミで歌いながら聴く。 音符と音の長さ、五線とドレミ、ほかの記号等の意味や名前を確認する。 復習として、「春の小川」も表現 CD の音源を、心の中でドレミで歌いながら聴く。
		p.10 ドレミの歌	ドレミの音の高さを感じ取り、手で表しながら表現 CD の範唱音源を聴いたり。心の中で歌ったり、ハミングしたりする。
	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.12 茶つみ (共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながら先生とエア手合わせをしたり、ハミングしたりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
	(こんにちはリコーダー)	p.16~23	リコーダーは、後の時期に毎時扱いも含め適宜挿入して扱う。
	歌声ひびかせて	p.24 この山光る ◎ホルディリディア	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながらハミングしたり、楽譜の音符を指でなぞり、気付いたことをワークシート等書いたりする。 鑑賞 CD の音源を聴き、気付いたことをワークシート等書く。 気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。
	(音のスケッチ)	p.26 いろいろな声で表げんして遊ぼう	声による表現は、後の時期に適宜挿入して扱う。
	p.32 題材「せんりつの流れとへん化」や、p.60「物語の音楽を楽しもう」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。		
4 年	(随時教材)	p.4 TODAY	ハミングで扱うほか、後の時期に愛唱歌と

		して扱うことも考えられる。
(スキルアップ)	p.6 早口	輪唱教材は、ハミングで扱うほか、後の時期に毎時の導入教材等として扱う。
	p.7 早口言葉でラップを楽しもう！	後の時期に授業の導入での扱いも含め適宜挿入して扱う。
(にっぽんのうた みんなのうた)	p.8 さくらさくら(共)	旋律に使われている音と音階とを見比べて確かめたり、表現 CD の音源を聴きながらハミングしたり、楽譜の音符を指でなぞったりする。 共通教材なので、後の題材または年度末に適宜挿入して扱ってもよい。
	p.11 ◎さくら変そう曲	そのまま扱うことが可能。 気付きの交流は普通の話し声で、間隔に留意しながら行う。 実際に箏に触る場合は、衛生管理に留意する。
歌声ひびかせて	p.12 プパポ	表現 CD の音源に合わせてハミングしたり、旋律のリズムを手で打ち、特徴に気付きながら、リズムアンサンブルとして扱ったりする。 後の時期に愛唱歌として適宜挿入して扱ってもよい。
	p.14◎「サウンドオブミュージック」から	そのまま扱うことが可能。 鑑賞 CD の音源を聴き、気付いたことをワークシート等を書く。 気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。 この機会に、市販の DVD 等を用いて映画を鑑賞することも考えられる。
ひょうしとせんりつ	p.16 エーデルワイス	表現 CD の音源を聴きながらハミングしたり、3 拍子の流れに合わせて体を動かしたり、楽譜の音符を指でなぞり、旋律の反復や変化に気付いたりする。 歌唱教材、器楽教材として、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。

		p.18◎トルコ行進曲 メリーさんの羊	そのまま扱うことが可能。鑑賞 CD の音源に合わせて 2 拍子の指揮の動きをする 気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。指揮棒を用いる際は、衛生管理に留意する。 指揮の動きのみ、そのまま扱うことが可能。
		p.20 ラバースコンチェルト ◎メヌエット	表現 CD や鑑賞 CD の音源に合わせて指揮の動きをしながら 2 曲を比較する。 気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。 指揮棒を用いる際は、衛生管理に留意する。
	(音のスケッチ)	p.22 音の動き方を生かしてせんりつをつくろう	リコーダーによる活動は、後の時期に適宜挿入して扱う。
	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.24 まきばの朝(共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながらハミングしたり、楽譜の音符を指でなぞったりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
	p.32 題材「かけ合いと重なり」や、p.58「いろいろな歌声を楽しもう」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。		
5 年	(随時教材)	p.4 夢色シンフォニー	ハミングで扱うほか、後の時期に愛唱歌として扱う。
	(スキルアップ)	p.6 花のおくりもの	輪唱教材は、ハミングで扱うほか、後の時期に毎時の導入教材等として扱う。
		p.7 クラップフレンズ	そのまま扱うことが可能。児童と児童の距離に留意する。
	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.8 こいのぼり(共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながらハミングしたり、楽譜の音符を指でなぞったりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
	和音や低音のはたらし	p.10 茶色の小びん	ピアノなどの鍵盤楽器を用い、先生や児童(一人)が旋律だけを弾いたり、旋律と低音を合わせて弾いたりするのを全員で聴き、気付きを交流する。p.14 の和音と旋律

			<p>や低音を合わせて弾いて比べてもよい。</p> <p>鍵盤楽器を複数名で使用したり交代で演奏したりする際は、衛生管理に留意する。</p> <p>また、表現 CD の音源を聴いてハミングしたり、低音の動きに合わせて、着席したまま体を動かすことも考えられる。</p> <p>器楽教材としては、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。</p>
		p.12 和音のはたらかしを感じ取ろう	<p>「茶色の小びん」の部分は鍵盤楽器を用いて、p.10 と同様に扱うことが可能。</p> <p>左右ページ共に、主要三和音の響きをよく聴いて親しむことを大切にする。</p>
		p.16 こきょうの人々	<p>ピアノなどの鍵盤楽器を用い、和音の進み方を確認する。</p> <p>先生や児童（一人）が旋律と和音や、旋律と低音を合わせて弾くのを全員で聴き、気付きを交流する。合わせて旋律をハミングしてもよい。</p> <p>鍵盤楽器を複数名で使用したり交代で演奏したりする際は、衛生管理に留意する。</p>
	声のひびき合い	p.18◎いろいろな合唱	<p>そのまま扱うことが可能。鑑賞 CD の音源を聴き、気付いたことをワークシート等を書く。</p> <p>気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。</p>
		p.20 ハローシャイニングブルー	<p>歌唱教材として、後の題材に適宜挿入して扱う。</p> <p>事前学習として、表現 CD の音源を聴きながらハミングしたり、楽譜の音符を指でなぞり、フレーズの反復や旋律の変化など、曲の特徴に気付いたり、パートに分かれてリズム打ちし、パート同士の関わり方に気付いたりする扱いが考えられる。</p>
	(めざせ楽器名人)	p.24 星笛	<p>リコーダーによる活動は、後の時期に適宜挿入して扱う。</p> <p>また、夏季休暇中の家庭学習としても考え</p>

			られる。 事前学習として、表現 CD の音源を聴きながら、8 分の 6 拍子の指揮の動きをしたり、楽譜の音符を指でなぞり、フレーズの反復や旋律の変化など、曲の特徴に気付いたり、パートに分かれてリズム打ちし、パート同士の関わり方に気付いたりする扱いが考えられる。
	(音のスケッチ)	p.26 和音に合わせてせんりつをつくろう	リコーダーで行う場合は、後の時期に適宜挿入して扱うが、木琴や鉄琴など含め吹奏しない鍵盤楽器を組み合わせて扱うことも考えられる。 鍵盤楽器を複数名で演奏したりマレットを交代で使用したりする際は、衛生管理に留意する。 また、児童同士の間隔に留意し、密集しないようにする。
	p.30 題材「オーケストラのみりょく」や、p.58「変そう曲を楽しもう」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。		
6 年	(随時教材)	p.4 つばさをください	ハミングで扱うほか、後の時期に愛唱歌として扱うことも考えられる。
	(スキルアップ)	p.6 バナハ	輪唱教材は、ハミングで扱ったり、後の時期に毎時の導入教材等として扱う。
		p.7 言葉をもとにリズムで遊ぼう！	隊形や体の向き、児童同士の距離、声の大きさに留意して扱う。
	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.8 おぼろ月夜(共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながらハミングしたり、楽譜の音符を指でなぞったりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。

短調のひびき	<p>p.12 マルセリーノの歌</p> <p>◎ハンガリー舞曲第5番</p>	<p>ハ長調とイ短調の主要三和音を先生が演奏して響きの違いを捉えてから、表現CDの範奏音源を聴き、アとイの違いを感じ取る。</p> <p>旋律をハミングしてもよい。</p> <p>鑑賞CDの音源を、短調の部分と長調の部分を見つけながら聴く。</p> <p>「マルセリーノの歌」を後の題材に適宜挿入し、器楽教材・歌唱教材として扱ってもよい。</p>
演奏のみりょく	<p>p.14◎交響曲第5番「運命」第1楽章から</p>	<p>そのまま扱うことが可能。</p> <p>鑑賞CDの数種類の演奏音源を聴き、気付いたことをワークシート等を書く。</p> <p>気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。</p>
	<p>p.16 ぼくらの日々</p>	<p>歌唱教材として、後の題材に適宜挿入して扱う。</p> <p>事前学習として、表現CDの音源を聴きながらハミングしたり、楽譜の音符を指でなぞり、フレーズの反復や旋律の変化など、曲の特徴に気付いたり、パートに分かれてリズム打ちし、パート同士の関わり方に気付いたりする扱いが考えられる。</p>
(めざせ楽器名人)	<p>p.18 The Sound of Music</p>	<p>リコーダーによる活動は、後の時期に適宜挿入して扱う。</p> <p>また、旋律の夏季休暇中の家庭学習としても考えられる。</p> <p>事前学習として、表現CDの音源を聴きながら、楽譜の音符を指でなぞり、フレーズの反復や旋律の変化など、曲の特徴に気付いたり、パートに分かれてリズム打ちし、パート同士の関わり方に気付いたりする扱いが考えられる。</p>
(音のスケッチ)	<p>p.19 動機をもとに音楽をつくろう</p>	<p>鍵盤打楽器や吹奏しない鍵盤楽器を使用して扱うことが考えられる。</p> <p>鍵盤楽器を複数名で演奏したりマレットを交代で使用したりする際は、衛生管理に留</p>

			意する。
(にっぽんのうた みんなのうた)	p.20 われは海の子(共)		旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながらハミングしたり、楽譜の音符を指でなぞったりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
p.28 題材「ききどころを見つけて」や、p.48「ジャズとクラシック音楽の出会い」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。			